



平成 24 年 10 月 11 日

各 位

上場会社名 株式会社 魚 喜
代 表 者 代表取締役社長 有吉 喜文
(コード番号 2683)
問合せ先責任者 経理部長 堀 弘之
電話番号 0466-45-9282

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ平成 25 年 2 月期第 2 四半期決算において、下記のとおり特別損失を計上するとともに、平成 24 年 4 月 13 日に公表した平成 25 年 2 月期第 2 四半期（累計）の業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上とその内容

(単位：百万円)

	第 2 四半期 会計期間	第 2 四半期 累計期間
店舗閉鎖損失	2	5
減損損失	—	21
その他	1	1
特別損失合計	4	28

平成 25 年 2 月期第 2 四半期会計期間において、店舗退店に伴う店舗閉鎖損失として 2 百万円を計上するとともに、その他固定資産除却損など 1 百万円を計上いたします。

2. 業績予想の修正

平成 25 年 2 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想数値の修正 (平成 24 年 3 月 1 日～平成 24 年 8 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純 利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	7,100	80	70	40	3.13
今回修正予想 (B)	6,851	△3	△6	△54	△4.25
増減額 (B-A)	△249	△83	△76	△94	
増減率 (%)	△3.5	—	—	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 2 月期第 2 四半期)	7,393	△25	△36	△175	△13.77

3. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間におきましては、昨年に引き続き事業環境がデフレ基調で推移しているのに加え、食の安心・安全に対する関心が一層高まるなか、厳しい雇用環境や所得環境に伴う先行き不安感を背景とした低価格志向・節約志向が依然として続いており、水産小売業界はたいへん厳しい状況が続いております。その影響により、当社グループの売上高の減少は避けられないものと考えております。

また、利益面におきましても、乱獲による水産資源の枯渇や異常気象による漁獲量の減少、世界的規模の需要増などにより魚介類の仕入価格が上昇し、利益を圧迫する状況が続いております。かかる状況の下、収益改善を図るべく既存店の強化と不採算店の撤退、仕入効率化による原価率の低減、人件費削減を中心とした販管費の削減を積極的に実施いたしました。しかし、売上総利益の減少を補填しきれず、営業利益及び経常利益は当初予想を下回る見込みです。また、四半期当期純利益におきましても、特別損失を計上したことにより当初予想を下回る見通しとなりましたので、上記のとおり修正いたします。

なお、通期の業績予想につきましては、水産小売業界において上記のように経営環境を見通し難い要素が存在することから、業績が見通せる状況になり次第お知らせいたします。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上